

行動01：医療倫理総論1

日時：9月3日（木） 1時限

担当者：種田 佳紀(教養教育)

内容：

倫理学のサブフィールドとしての医療倫理の特徴を理解する。医療倫理が包含するテーマの多様性を理解する。3・4年次で学習する医療倫理についての全体像を掴む。2年次で学習した行動経済学の知識が臨床に与える影響を理解する。★GE-01-05-01

キーワード：

治療と倫理、Fidelity、研究と倫理、Integrity

ジュネーブ宣言、リスボン宣言、ヘルシンキ宣言、患者中心主義

参考書：

◆「医療倫理学のABC 第3版」服部健司、伊東隆雄著、井部俊子監修、メヂカルフレンド社、2015

予習：

2年次での行動経済学、ならびにインフォームド・コンセントの授業内容を復習し、理解を深めておくこと。(10分)

復習：

医療倫理演習に向けて、授業で学修した中核的な概念を正しく理解しておくこと。(10分)

行動02：医療倫理総論2

日時：9月10日（木） 5時限

担当者：種田 佳紀(教養教育)

内容：

今回の医療倫理演習に向けて、ICの原理と、その臨床上の倫理的論点を理解する。ICに際しての説明基準について理解する。★PR-04-01-02 2年次に学習した医師-患者関係についてより深く理解する。

キーワード：

説明基準説、医師-患者関係論

参考書：

◆「医療倫理学のABC 第3版」服部健司、伊東隆雄著、井部俊子監修、メヂカルフレンド社、2015

予習：

2年次に学習したエマニュエル&エマニュエルの医師-患者関係論を復習しておく。(10分)

復習：

ICに際しての説明基準についての学説を整理し、今回の医療倫理演習の準備をする。(10分)

行動03：医療倫理演習1

日時：10月23日（金） 1時限

担当者：種田 佳紀(教養教育) 長谷川 優(帯広協会病院) 堀 優人(国セ 心臓血管外科)

山本 航史郎(緩和医療科)

内容：

倫理的な観点から物事を考える際の道具立てを使いながら、医療現場を舞台とした、仮想的な事例について検討する。倫理的な態度とはどのようなものであるか、事例を通して追体験する。

キーワード：

規範理論, 思考実験, 論理的一貫性

患者中心主義

備考：

医療倫理総論での授業内容を復習し、生命の尊厳について多様な角度から検討できるよう、頭を柔らかくしてから授業に臨むこと。

予習：

指示された予習課題を実施し、演習で扱う事例への背景知識を深めておく。(20分)

復習：

医療倫理演習2と併せて、ワークシート課題を実施する。(20分)

行動04：医療倫理演習2

日時：10月23日（金） 2時限

担当者：種田 佳紀(教養教育) 長谷川 優(帯広協会病院) 堀 優人(国セ 心臓血管外科)
山本 航史郎(緩和医療科)

内容：

医療倫理演習1で検討した事例についてグループで討論し、倫理的な問題については多様なアプローチがありえることを理解する。倫理的問題には多様なアプローチがあるがゆえに、自分なりに考えを深めることが重要であることを理解する。グループ討論後に、もう一度自分なりの結論をまとめることで、自分なりの医療倫理観を作る足かがりを得る。

キーワード：

信念の多様性、誠実さ

備考：

他者の考えに対する開かれた姿勢を持ち、自分の常識を疑う心構えを持って授業に臨んでください。

予習：

休憩時間中に、医療倫理演習1で考えたことを自分なりにまとめ、後半の課題に備える。(5分)

復習：

医療倫理演習1と併せて、ワークシート課題を実施する。(20分)

行動05：医療倫理総論3

日時：10月29日（木） 5時限

担当者：種田 佳紀(教養教育) 遠藤 昌亨(東松山市民病院)

内容：

医療倫理演習を踏まえて、臨床上、どんな時に倫理的問題が起こりえるかについて概説できる。★PR-04-01-03 医療資源の再分配の重要性を理解する。★SO-04-07 医療現場で、患者の社会的背景を理解しておくことの大切さを理解する。★GE-01-03-02

キーワード：

予習：

医療倫理演習で検討した症例について、再度思い出して、論点を整理しておく。(10分)

復習：

次回の生命倫理演習に向けて、医療資源の適切な使用について自分なりに考えをまとめておく。(10分)

行動06：医療における行動科学Ⅱ

日時：11月4日（水） 5時限

担当者：小林 清香(総セ 神経精神科)

内容：

個人のとり行動は良くも悪くもその人の健康に影響を与える。特にライフスタイルは生活習慣病を初めとした様々な健康のリスクに関わりのある要因である。「よい行動が何か、頭ではわかっているけれど、生活ではなかなか変えられない、維持できない」ということは我々が日々経験していることでもある。動機付けと環境要因の相互作用から、健康行動について考える。★GE-04-01-06 ★CM-02-03-02 ★SO-04-01-01

1. 健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。★GE-01-05-01

キーワード：

健康行動理論、行動変容、動機付け

予習：

教科書「心理学概論第2版」の第6章動機付けに目をとおしておく（15分）

復習：

講義で取り組んだ内容が生じている場面を実生活でも見つけられるように、学びと生活を照らし合わせて考えること。（10分）

行動07：医療安全Ⅱ：医療事故の定義、緊急処置、記録・報告方法と医療現場における記録の重要性とカルテ改ざんの違法性

日時：12月2日（水） 4時限

担当者：中島 勸(総セ 医療安全管理学)

内容：

一般的な医療事故と医療事故調査制度における医療事故の定義について解説し、医療事故調査制度の意義について事例を通じて理解する。事故発生時の初期対応について連携の重要性を理解する。インシデントレポートの果たす役割について事例から学ぶ。★CS-05-06-02 ★CS-05-06-04

キーワード：

医療事故調査制度、インシデントレポート

参考書：

◆ 医療安全調査機構 医療事故調査制度の概要 https://www.medsafe.or.jp/modules/about/index.php?content_id=2

予習：

医療事故調査制度について上記参考書で示した概要に目を通し理解しておく。（30分）

復習：

講義スライドのPDFファイルを提供するので、もう一度目を通して理解を確認する。（30分）

行動08：生命倫理演習1

日時：12月7日（月） 2時限

担当者：種田 佳紀(教養教育) 齋木 実(国セ 総合診療内科)

内容：

終末期医療の現場におけるACPの概念をICの概念と関連付けながら理解する。臨床の現場でのACPの実践の際に起こりえる難問に、具体的事例を通じて追体験する。

キーワード：

QOLとEOLケア、患者中心医療、QALY計算

参考書：

◆ 「Advance Care Planningのエビデンス」森雅紀、森田達也、医学書院、2020

予習：

終末期医療や緩和ケアについてのこれまでの授業内容を復習し、理解を深めておくこと。また、指示された事前学習課題を実施すること。（15分）

復習：

生命倫理演習2と併せて、ワークシート課題を実施すること。(20分)

行動09：生命倫理演習2

日時：12月7日(月) 3時限

担当者：種田 佳紀(教養教育) 齋木 実(国セ 総合診療内科)

内容：

生命倫理演習1で検討した事例についてグループで討論し、終末期医療における倫理的な課題について検討を深める。グループ討論後にもう一度自分なりの結論をまとめ、自分なりの医療倫理観の足がかりを得る。

キーワード：

QOLとEOLケア、患者中心医療、QALY計算、自律性、自己決定権

参考書：

◆「Advance Care Planningのエビデンス」森雅紀、森田達也、医学書院、2020

予習：

生命倫理演習1を踏まえて、自分なりの考えを整理しておく。(5分)

復習：

生命倫理演習1と併せて、ワークシート課題を実施する。また、あわせて冬期課題を実施する。(60分)

行動10：行動科学と医療倫理の関わり

日時：1月14日(木) 1時限

担当者：種田 佳紀(教養教育) 菅 理江(教養教育)

内容：

ユニット全体についてまとめ、行動科学、医療倫理の両面から、医師-患者関係について再考する★
GE-01-03-03

キーワード：

医師-患者関係
患者中心主義

予習：

ユニットでもちいた資料、課題を見直し、疑問点を整理しておくこと。また、第9講で指定された冬期課題の内容を思い出しておく。(10分)

復習：

1年間の授業を振り返り、医師-患者関係における倫理的課題を自分なりに整理しておくこと。(15分)